

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床栄養学 I	2年次	必修	講義	2単位（30時間）	大友 崇 ※
授 業 概 要					
<p>臨床栄養学の理論を習得するための基礎教育科目である。            栄養素の補給手段である栄養法について（経口栄養・経腸栄養・静脈栄養）学ぶ。            代表的な代謝・内分泌疾患である肥満、糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症、甲状腺機能亢進・低下の病態生理や栄養状態の特徴に基づいた適切な栄養管理の基本を学ぶ。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療における臨床栄養の意義を述べることができる。</li> <li>・栄養補給法の目的、種類、手法について説明ができる。</li> <li>・各疾患の栄養生理及び栄養食事療法について説明できる。</li> </ul>					
回	学 習 内 容				担当教員
1	臨床栄養の概念（意義・計画・栄養ケア・マネジメント）				大友 崇 ※
2	人体への栄養補給①（経口栄養）				
3	人体への栄養補給②（経静脈栄養）				
4	人体への栄養補給③（経腸栄養）				
5	肥満・メタボリックシンドローム				
6	脂質異常症①（病態生理）				
7	脂質異常症②（栄養食事療法・薬物療法）				
8	糖尿病①（病態生理1）				
9	糖尿病②（病態生理2・薬物療法）				
10	糖尿病③（栄養食事療法）				
11	糖尿病④（運動療法・妊娠糖尿病・小児糖尿病）				
12	糖尿病腎症				
13	高尿酸血症と痛風				
14	内分泌疾患 甲状腺機能亢進症と低下症				
15	まとめ				
学 習 方 法					
<p>教科書で予習をし、わからない単語など事前に調べておくこと。            月曜テストに対しては事前の学習は勿論のこと、実施後においても再度学習し確実な知識を習得すること。            疑問点は進んで自ら調べ、教科担当に確認し正しい知識としておくこと。</p>					
評 価 方 法					
<p>〔評価方法〕            科目修了試験80%、月曜試験20%で総合評価する。</p>					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
<p>〔教科書〕            最新 臨床栄養学 第3版 新ガイドライン対応、井上修二他編、株式会社光生館            症例から学ぶ臨床栄養教育テキスト第3版、川崎英二他監修、本田佳子・松崎政三編、医歯薬出版株式会社            糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版、日本糖尿病学会編、日本糖尿病協会・文光堂</p>					